

産業建設常任委員会 6月14日

若者流出の歯止めとなるか

子育て支援住宅・若者定住促進住宅整備基本構想について説明を受けた。

【背景】

結婚後に住みたいアパートの不足により若者の流出が止まらない。ニーズに合った町営住宅の整備が必要。

【概要】

- 整備予定地
鮎貝地区「公営住宅 神明アパート」周辺
- 整備規模（R5～7）
- ①子育て支援住宅 12棟
- ②若者定住促進住宅 3棟・18戸
- 概算事業費 7億7750万円

質疑

議論は生かされたか

【委員】どのような議論があり、構想に生かされたのか。

【当局】

住宅施策に特化して、若者定住促進住宅と子育て支援住宅について議論し、整備構想について検討した。

住環境のポイント

【委員】住環境を整える際、重点的に考えているポイントはありますか。

【町長】住宅周辺に買い物できる場所や医療機関があれば住環境は素晴らしくなる。何とか取り組めたらと考えている。

柔軟な対応を

【委員】単身世帯から夫婦世帯、夫婦世帯から子育て世帯になった際、すぐ退去とならないような柔軟な入居条件も必要ではないか。

【当局】要件の見直しは今後検討したい。

用地取得

【委員】地権者に用地取得予定金額で理解していただけるのか。

【町長】交渉はこれから不動産鑑定をし、ルールを踏んで取り組みたい。

【委員】

町営住宅退去後、四季の郷の土地売買も考えてはどうか。

【町長】相談があればさせていきたい。



町内観光施設の方向性が

サウンディング型市場調査報告書を受けての観光施設の方向性について説明を受けた。

【基本的方向性】

- ①公募での民間事業者への指定管理移行。
- ②指定管理の期間は、民間の投資回収を考慮し5～10年で検討。
- ③インパクトのあるコンテンツ強化。

【指定管理の方向性】

- ①ふるさと森林公園 町民保養センターは、公共性の施設として町民の利便性等を考慮し進める。他は収益性の施設として民間事業者の意向も踏まえ進める。
- ②伝統工芸の村 地元との連携・協力が必要不可欠であり、総合的に検討し決定する。

質疑

公共性

【委員】温泉施設の町民保養センターとして公共性をどうするか。

【町長】安定的に経営していく保養センターとして、いろいろな角度から研究し、方向性を議論し進みたい。

アルカディア財団

【委員】民間への指定管理が進むと、アルカディア財団の立ち位置はどうなるのか。

【副町長】来年度まで指定管理期間があり、その間はお客様のニーズにこたえて、喜んでいただける努力をしたい。その後は公益的な部分を中心に取り組んでいくことになると思うが、理事の方々からのご意見をいただいで検討し



【委員】財団そのものは、そのまま組織を残した形で運営していくということか。

【町長】公共性が高いものは引き続きやっていきたい。一般財団法人として残していくという考え方で進みたい。

その他の説明
○飼料価格高騰に伴う畜産農家への支援
○一般財団法人白鷹町アルカディア財団の経営状況